

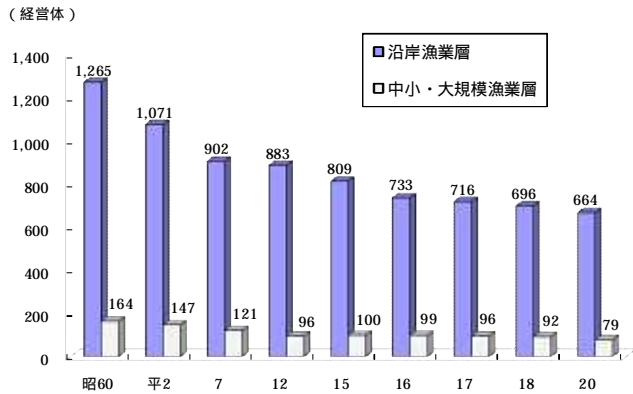
水産業関係

1 漁業経営体数

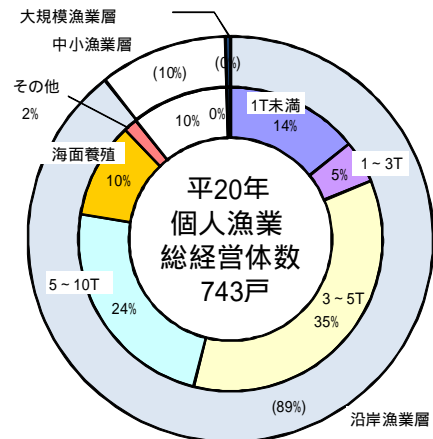
本県の平成 20 年の漁業経営体数は 743 経営体で、平成 18 年と比べて 45 経営体 (5.7%) 減少しています。また、平成 20 年の動力船使用経営体数は 652 経営体で、平成 18 年と比べて 48 経営体 (6.9%) 減少しています。

本県の経営体の中心は沿岸漁業層であり、経営体全体の 89.4%を占めています。沿岸漁業層の中心は、引き続き 10t 未満の動力船階層となっています。

本県の漁業層別漁業経営体数の推移



本県の漁業層別漁業経営体の構成比 (平成 20 年)



平成 19 年度の調査は未実施

本県の漁業層別漁業経営体数

(単位: 経営体、%)

区分	計	沿岸漁業						中小漁業	大規模業
		小計	漁船非使用	無動力船	動力船 (10T未満)	定置網	海面養殖		
昭60	1,429	1,265	19	5	1,091	11	139	158	6
平2	1,218	1,071	24	-	921	10	116	140	7
7	1,023	902	13	-	771	12	106	115	6
12	979	883	9	-	778	6	90	91	5
15	909	809	9	-	711	4	85	95	5
16	832	733	10	-	640	4	79	95	4
17	812	716	11	-	628	4	73	92	4
18	788	696	10	-	608	4	74	88	4
20	743	664	7	5	573	4	75	76	3
H20/H18	94.3	95.4	70.0	-	94.2	100.0	101.4	86.4	75.0
構成比(H20)	100.0	89.4	0.9	0.7	77.1	0.5	10.1	10.2	0.4

(資料: 農林水産省「海面漁業生産統計調査」、農林水産省「漁業センサス」)

本県の動力船階層別漁業経営体数

(単位: 経営体、%)

区分	計	1T未満	1~3	3~5	5~10	10~20	20~50	50~100	100~1,000	1,000T以上
昭60	1,255	304	157	413	217	81	11	27	39	6
平2	1,068	201	100	397	223	69	14	5	52	7
7	892	140	67	366	198	65	14	-	36	6
12	874	171	71	334	202	55	12	-	24	5
15	811	140	59	319	193	66	12	-	17	5
16	739	109	46	292	193	66	12	-	17	4
17	724	107	39	286	196	64	12	-	16	4
18	700	99	38	287	184	63	12	-	13	4
20	652	105	33	260	175	54	12	-	10	3
H20/H18	93.1	106.1	86.8	90.6	95.1	85.7	100.0	-	76.9	75.0
構成比(H20)	100.0	16.1	5.1	39.9	26.8	8.3	1.8	-	1.5	0.5

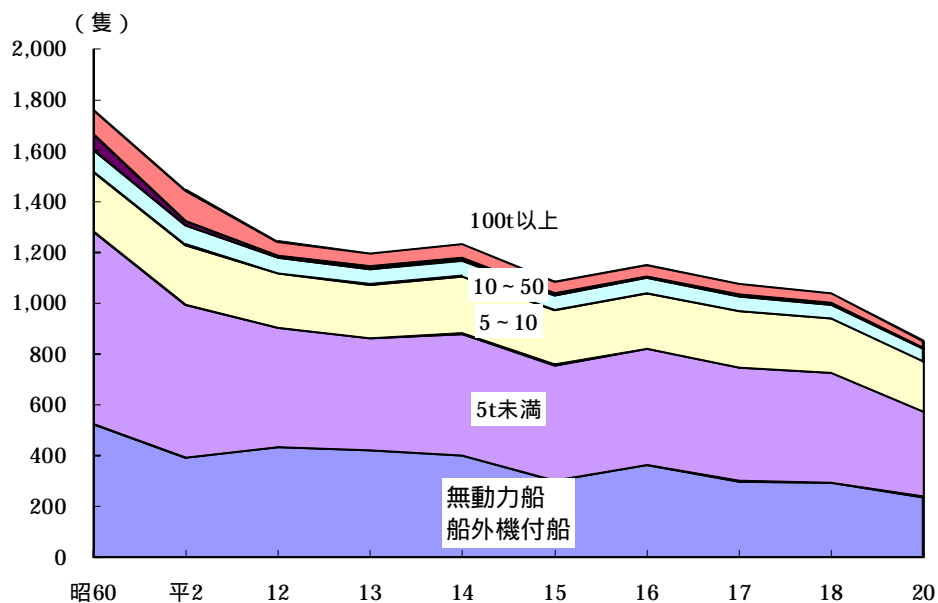
(資料: 農林水産省「海面漁業生産統計調査」、農林水産省「漁業センサス」)

2 漁船隻数

本県の平成 20 年の海面漁業に使用した漁船隻数は 865 隻で、平成 18 年と比べて 231 隻（21.1%）減少しました。

本県の漁船の中心は動力船であり、漁船全体の 71.1%を占めています。また、動力船の中心は 10t 未満の階層であり、動力船全体の 86.7%を占めています。

本県の漁船規模別隻数の推移



平成 19 年の調査は未実施

本県の漁船規模別隻数・総 t 数

(単位：隻、t、%)

区分	計	無動力船	船外機付	動力漁船					100t以上	総 t 数
				小計	5t未満	5~10	10~50	50~100		
昭60	1,864	106	523	1,235	758	235	88	60	94	32,165
平2	1,484	40	392	1,052	603	235	77	16	121	35,527
7	-	-	211	871	505	216	60	6	84	28,300
12	1,303	61	434	808	470	214	60	8	56	-
13	1,257	62	420	775	442	212	61	9	51	-
14	1,232	60	339	833	481	226	63	10	53	-
15	1,083	22	279	782	456	216	58	6	46	-
16	1,150	57	307	786	456	220	60	6	44	-
17	1,133	57	299	777	448	222	59	6	42	-
18	1,096	57	293	746	432	214	56	6	38	-
20	865	13	237	615	338	195	50	5	27	-
H20/H18	78.9	22.8	80.9	82.4	78.2	91.1	89.3	83.3	71.1	-
構成比(H20)	100.0	1.5	27.4	71.1	39.1	22.5	5.8	0.6	3.1	-

(資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」、農林水産省「漁業センサス」)

3 海面漁業生産量と漁業生産額

(1) 海面漁業生産量

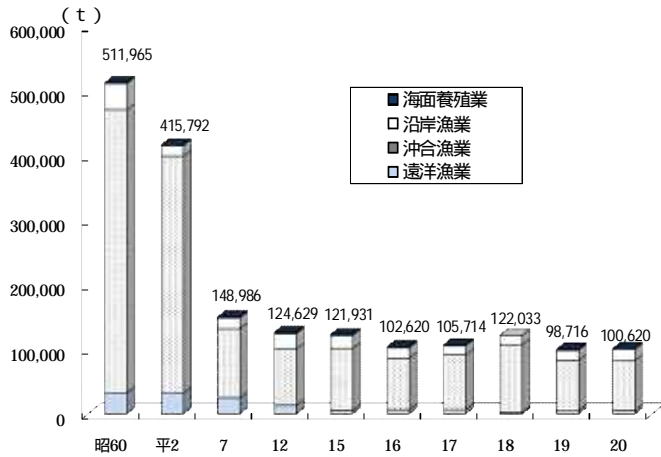
本県の平成 20 年の海面漁業生産量は 10 万 620t

平成 20 年の海面漁業生産量は 10 万 620t であり、前年と比べて 1,904t (1.9%) 増加しました。

遠洋、沖合漁業の生産量が本県海面漁業に占める割合は、それぞれ 5.8%、76.2%で、本県水産業の主要漁業となっていますが、イワシ・サバ資源の不安定さ、国際的な漁場縮小等により減少傾向にあります。一方、沿岸漁業の生産量が本県漁業に占める割合は 18.0%で毎年増減はあるものの、振れ幅は小さく本県では沿岸漁業の振興に力をいれています。

また、魚種別漁獲量ではカツオが 4,643t (前年比 85.4%)、ヒラメ〔ふくしまイレブン〕が 615t (前年比 87.4%) となっています。

本県の部門別生産量の推移



	海面漁業					
	部門別				魚種別	
	計	遠洋	沖合	沿岸	カツオ	ヒラメ
昭60	511,965	32,795	438,229	40,941	4,049	438
平2	415,792	32,520	366,758	16,514	5,273	150
7	148,986	25,085	106,834	17,067	4,230	376
12	124,629	13,684	86,755	24,190	4,871	396
15	121,931	5,827	95,856	20,248	2,171	315
16	102,620	7,072	79,272	16,276	990	243
17	105,714	7,168	84,329	14,217	4,962	304
18	122,033	3,031	104,007	14,995	5,211	580
19	98,716	5,353	77,879	15,484	5,434	704
20	100,620	5,799	76,716	18,105	4,643	615
H20/H19	101.9	108.3	98.5	116.9	85.4	87.4
構成比(H20)	100.0	5.8	76.2	18.0	-	-

(資料: 農林水産省「海面漁業生産統計調査」)

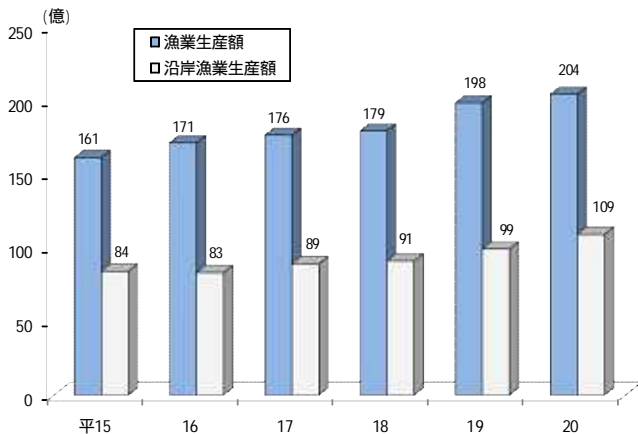
(2) 漁業生産額

本県の平成 20 年の漁業生産額は 204 億円

平成 20 年の漁業生産額は前年と比較して 6 億円 (3.0%) 増加し 204 億円となっています。

なお、沿岸漁業生産額は前年と比較して 10 億円 (10.1%) 増加し、109 億円となっています。

本県の漁業生産額・沿岸漁業産出額



	漁業生産額	沿岸漁業生産額
平15	161	84
16	171	83
17	176	89
18	179	91
19	198	99
20	204	109

(資料: 漁業生産額は農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」、沿岸漁業産出額は県水産課調べ)

漁業生産額は県内に所在する経営体による生産額。一方、沿岸漁業生産額は、県内の産地魚市場に沿岸漁業により水揚げされた金額を集計

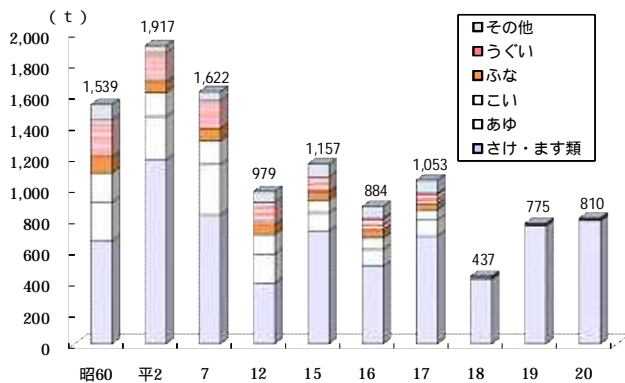
4 内水面漁業・養殖業生産量

本県の平成 20 年の内水面漁業生産量は 810t であり、前年と比べて 35t (4.5%) 増加しました。主な魚種は、「さけ・ます類」や「あゆ」であり、「さけ・ます類」の増減が全体の増減を左右しています。平成 20 年の「さけ・ます類」の生産量は 793t で、前年と比べて 32t (4.2%) 増加しました。

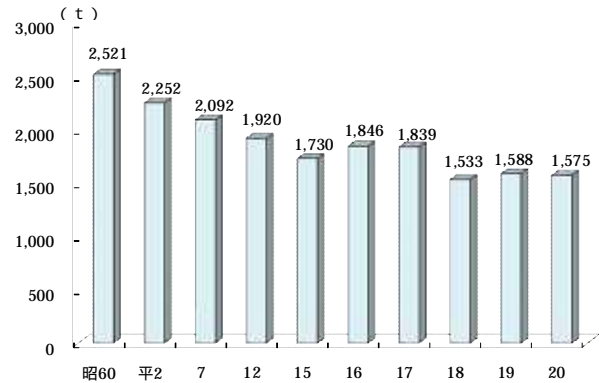
平成 20 年の内水面養殖業生産量は 1,575t であり、前年と比べて 13t (0.8%) 減少しました。本県の内水面養殖業は「こい」が大半を占めており、前年に引き続き平成 20 年も生産量は全国 1 位となっています。

本県では、養殖業の生産量が、漁業の生産量よりも多くなっています。

本県の内水面漁業生産量の推移



本県の内水面養殖業生産量の推移



本県の内水面漁業・養殖業生産量の推移

(単位：t、%)

	計	内水面漁業							内水面養殖業				
		小計	さけ・ます類	あゆ	こい	ふな	うぐい	その他	小計	にじます	その他のます類	こい	その他
昭60	4,060	1,539	665	248	186	106	234	100	2,521	445	53	1,952	71
平2	4,169	1,917	1,185	276	154	71	184	47	2,252	423	258	1,527	44
7	3,714	1,622	830	324	152	79	177	60	2,092	292	290	1,462	48
12	2,899	979	392	185	127	65	140	70	1,920	298	310	1,298	14
15	2,887	1,157	725	117	82	54	95	84	1,730	x	x	1,086	0
16	2,730	884	501	106	75	51	72	79	1,846	x	x	1,305	0
17	2,892	1,053	693	106	64	40	64	86	1,839	x	x	1,244	x
18	1,970	437	418	4	-	-	3	11	1,533	371	283	879	0
19	2,363	775	761	4	-	-	3	7	1,588	366	256	966	0
20	2,385	810	793	4	0	0	4	8	1,575	330	x	1,026	...
H20/H19	100.9	104.5	104.2	100.0	-	-	133.3	114.3	99.2	90.2	-	106.2	-
構成比(H20)	-	100.0	97.9	0.5	-	-	0.5	1.0	100.0	21.0	-	65.1	-

平成 18 年以降、内水面漁業のうち遊漁漁獲量が除かれた。

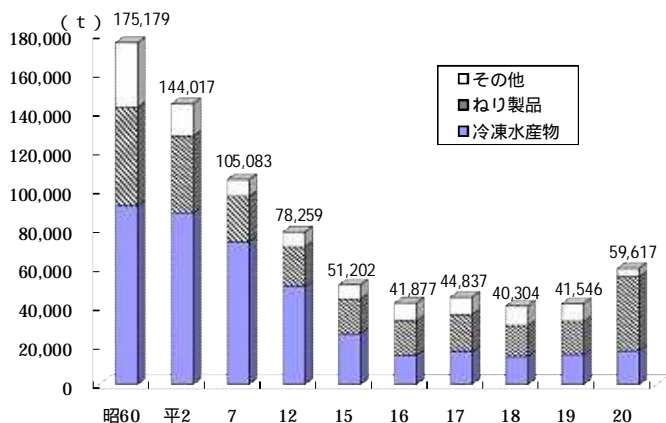
(資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」)

5 水産加工品生産量

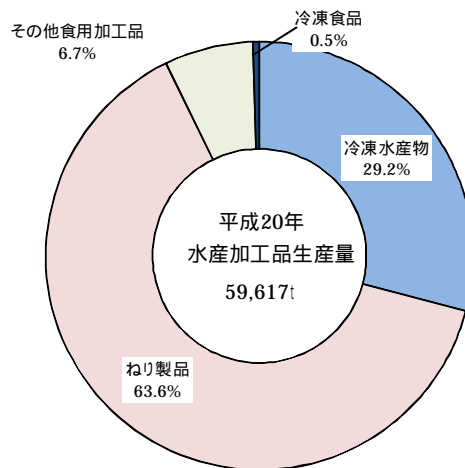
本県の平成20年の水産加工品生産量は59,617tで、前年と比べて18,071t(43.5%)増加しました。これは、本県の主な加工品であるねり製品と冷凍水産物の生産量が増加要因であり、前年と比べて、ねり製品が21,068t増の37,928t、冷凍水産物が1,940t増の17,386tとなっています。

平成20年の水産加工品生産量に占める割合は、ねり製品が63.6%、冷凍水産物が29.2%となっています。

本県の水産加工品生産量の推移



本県の品目別生産量の割合(平成20年)



本県の水産加工品生産量の推移

(単位: t, %)

	水産加工品生産量								焼・味付けの 1,000枚
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し・ 塩干・ 煮干し品	塩蔵品 くん製品 節製品	その他の 食用 加工品	その他	冷水 産物	
昭60	175,179	50,456	1,177	9,148	374	2,150	20,285	91,589	47,172
平2	144,017	39,385	1,758	7,734	29	2,845	4,240	88,026	64,142
7	105,083	23,348	1,073	5,277	199	2,085	-	73,101	104,009
12	78,259	20,196	851	4,748	34	2,032	-	50,398	139,219
15	51,202	17,688	597	2,051	-	4,254	412	26,200	-
16	41,877	17,862	1,026	2,468	8	4,936	636	14,941	151,057
17	44,837	19,137	572	2,459	x	4,851	1,034	16,784	147,099
18	40,304	15,692	540	4,615	118	4,818	-	14,521	133,879
19	41,546	16,860	461	4,314	x	4,465	x	15,446	96,255
20	59,617	37,928	290	x	x	4,013	x	17,386	17,923
H20/H19	143.5	225.0	62.9	-	-	89.9	-	112.6	18.6
構成比(H20)	100.0	63.6	0.5	-	-	6.7	-	29.2	-

合計には焼・味付けのりを含まない。

(資料: 農林水産省「水産物流通調査」)